

【研究シーズテーマ】

# 地域別犯罪の傾向と防犯まちづくり

 工学部 環境土木工学科 准教授 **今川 朱美**


工学

**Keyword**
**都市犯罪／地域防犯／安全なくらし／まちづくり**


## 【研究シーズの概要】

子どもや女性をターゲットにした犯罪は後を絶ちません。犯罪には地域環境による特性があり、起こりうる犯罪はある程度予想されます。また、犯罪とはある時間において、「動機づけられた犯行者」「適当な標的」「有能な監視者の欠如」の3要素が重なるときに発生すると言われています。つまり、監視を意識する「まち並み」の創出や、犯罪への動機を抑制する景観を演出することによって、防犯効果が期待できると考えています。



図1 住民の目を感じにくい住宅地  
1970年代に建設(広島市西区)



図2 住民の視線を意識できる住宅地  
2000年代に建設(広島市安佐南区)

## 【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- 犯罪発生後の対処ではなく、防犯を目的としています。
- 景観やまち並みから、防犯に取り組んだ研究は例がありません。
- 広島県下に防犯士の有資格者が13名しかいません。(うち1名が本研究協力者)

## 【産業界での展開・用途】

- 地域内での人間工学的な行動パターンの解析により、犯罪箇所を予測します。
- すでに建設された住宅地では、効果的な防犯監視が計画できます。
- 防犯に対する住民意識を高め、防犯コミュニティの形成を促すことができます。

連絡・問合せ先

広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1  
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963  
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail [kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp](mailto:kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp)